

中学校新人体育大会における 感染拡大予防のための運営方針



茨城県中学校体育連盟

目 次

1 中学校新人体育大会における感染拡大予防のための運営方針（全競技共通）

- (1) はじめに
- (2) 大会開催の最低条件
- (3) 開催にあたっての基本的な考え方
- (4) 開催にあたっての留意事項【主催者（各専門部）の対応】
- (5) 開催にあたっての留意事項【参加者（生徒・指導者等）の対応】
- (6) 危機管理対応

2 中学校新人体育大会における感染拡大予防のための運営方針（競技別）

- (1) 陸上競技
- (2) 水泳競技
- (3) 体操
- (4) 新体操
- (5) バスケットボール
- (6) バレーボール
- (7) ソフトテニス
- (8) ハンドボール
- (9) サッカー
- (10) ソフトボール
- (11) 軟式野球
- (12) 卓球
- (13) 柔道
- (14) 剣道
- (15) 相撲
- (16) 弓道
- (17) バドミントン
- (18) レスリング

3 その他

- (1) 別紙一覧 大会参加までの流れ（フロー図）
- (2) 別紙1 健康チェック表及び参加同意書（個人用）
- (3) 別紙2 健康チェック表（学校用）
- (4) 別紙3 行動記録表
- (5) 会場内のポスター

1 中学校新人体育大会における感染拡大予防のための運営方針（全競技共通）

(1) はじめに

本運営方針は、中学校新人体育大会（県大会及びその予選大会）（以下本大会）を実施する際に、本県の感染拡大状況を鑑み、各競技における具体的な対応を示したものです。本大会の運営にあたっては、本運営方針だけではなく、スポーツ庁「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」、各中央競技団体のガイドライン等を考慮し、生徒にとって、安全・安心な大会となりますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(2) 大会開催の最低条件

- ① 県の示す「茨城版コロナ Next Ver.2」の対策が、「Stage1～Stage3」となっていること。
- ② おおよそ、通常通りの学校教育活動と、すべての部活動が実施されていること。
- ③ 十分な練習期間（最低1か月以上）が確保できていること。
- ④ 出場に際して、生徒と保護者の同意を得ること。
- ⑤ 大会に関わるすべての人の健康状態の管理体制を整えること。（健康チェック表等の活用）
- ⑥ 本運営方針及び各中央競技団体等のガイドラインに沿った大会運営をすること。

(3) 開催にあたっての基本的な考え方

- ① 本大会の開催にあたっては、本運営方針を参考とし主催団体として十分対策を施すこと。
- ② ルールについては、一部変更するなど、感染症対策を行うこと。
- ③ 出場に際して、生徒と保護者の同意を得ること。
- ④ 県内の感染状況や参加者の感染が疑われた場合、中止等の適切な対応に努めること。

(4) 開催にあたっての留意事項 【主催者（各競技専門部）の対応】

留意事項	主催者（各競技専門部等）の対応
全般的な事項	<ul style="list-style-type: none">○ 各競技団体からの競技特性に応じたガイドラインを参考に、感染拡大予防のための必要な取組を実施する。○ 会場内の人数が増えて密にならぬよう、関係者の人数を制限する。屋内競技では収容人数の50%以下、屋外競技では2mを目安に（最低1m）間隔をとれる人数となるよう配慮する。○ 感染拡大防止のため、保護者の観戦は認めない。また、応援のみの生徒の参加も制限する。ただし、市郡大会においては地域の感染拡大状況を鑑みて判断する。○ 参加者がマスクを準備しているか確認するとともに、運動時以外においてはマスクの着用を求める。運動中のマスク着用は参加者等の判断によるものとするが、マスクを着用して運動を行った場合は、熱中症のリスクが高くなることを周知する。○ 大会前後のミーティング等においても、三つの密を避ける。○ 大会における遵守事項を掲示し、換気設備を適切に運転し十分な換気を行うなど、会場内を定期的に巡回・確認する。○ 万が一感染が発生した場合に備え、参加校から提出された「別紙2：健康チェック表（学校用）」は、少なくとも1月以上適切に管理する。また学校や選手以外（委嘱審判・写真評者等）から提出された「別紙1：健康チェック表及び参加同意書（個人用）」も同様とする。○ 大会開催前後における地域の感染拡大状況について注視し、開催自治体の衛生部局への連絡等について事前に検討しておく。○ 大会に参加した関係者は全員「いばらきアマビエちゃん」に登録する。○ 大会役員の中で、コロナ対応係をおく。コロナ対応係は、会場への呼びかけ、物品の消毒、感染の疑いのある事例が発生した場合の対応等を中心となるて行う。

参加募集時の対応	<p>○ 感染拡大予防のために参加者が遵守すべき事項を明確にし、協力を求める。また、遵守できない参加者には、大会参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知する。</p> <p>○ すべての参加者に「別紙1：健康チェック表及び参加同意書（個人用）」の提出を求め、主催者として必ず確認する。確認後、顧問へ返却する。</p> <p>以下のア～クまでの8項目のうち1項目でも当てはまった顧問・生徒等は参加を認めない。</p> <p>ア 平熱を超える発熱（概ね37.5℃以上）がある</p> <p>イ 咳、のどの痛みなど風邪の症状がある</p> <p>ウ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がある</p> <p>エ 嗅覚や味覚の異常がある</p> <p>オ 体が重く感じる、疲れやすい症状がある</p> <p>カ 過去14日以内に、新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触があった</p> <p>キ 過去14日以内に、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいた</p> <p>ク 過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触があった</p> <p>○ 参加するチームの顧問に「別紙2：健康チェック表（学校用）」の提出を求める。万が一感染が発生した場合に備え、少なくとも1月以上、適切に管理する。</p>	
準備品	<p>アルコール等の手指消毒剤（受付に設置）、用具等の消毒剤、ハンドソープ、拭き取り用布巾、ビニール袋や手袋、体温計、予備用マスク 等</p>	
当日の参加受付時の対応	<p>○ 「別紙1：健康チェック表及び参加同意書（個人用）」が全員分あるか、健康状態は良好かを確認する。</p> <p>○ 「別紙2：健康チェック表（学校用）」について、内容の確認を行う。</p> <p>○ 学校以外の関係者も「別紙1：健康チェック表及び参加同意書（個人用）」を提出する。</p> <p>○ 並ぶ時等は、参加者の間隔は、できるだけ2mを目安に（最低1m）保てるようにする。</p>	
競技運営	開閉会式	<p>○ 原則として実施しない。（実施する場合には、人数削減や時間短縮を工夫）</p> <p>○ 指示伝言がある場合は、マイクや拡声器を利用するなど工夫する。</p>
	競技実施中	<p>○ 試合時間の短縮や感染症対策に係る独自ルールを工夫する。</p> <p>【感染症対策に係る工夫の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベンチや待機場所での密集を避け、人と人の間隔は、できるだけ2mを目安に（最低1m）確保する。 ・競技中の握手やハイタッチを控える。 ・円陣を組む時は間隔を確保し、密集を避ける。 ・唾や痰を吐くことは極力行わない。
	応援等	<p>○ 応援者の間隔は、できるだけ2mを目安に（最低1m）確保するよう周知する。</p> <p>○ 大きな声での会話や、声援はしないよう周知する。</p>
	事故対応	<p>○ 事前に医療体制を確保するとともに、当日の事故対応については医療機関と連携し速やかに対応する。</p> <p>○ 状況の把握と対応に努め、場合によっては大会の中止や延期を決定する。</p>
大会開催後	<p>○ 大会終了後2週間のうちに、参加者から新型コロナウイルス感染症に感染したとの報告があった場合や地域の生活圏において、感染拡大の可能性が報告された場合、開催自治体の衛生部局に直ちに報告する。</p> <p>○ 大会終了後2週間のうちに、参加者から新型コロナウイルス感染症に感染したとの報告があった場合、参加者から「別紙3：行動記録表」を速やかに回収する。</p>	

(5) 開催にあたっての留意事項 【参加者（生徒・指導者等）の対応】

留意事項	参加者（生徒・指導者等）の対応
参加募集時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 顧問は、生徒・保護者の意見を尊重した上で参加の有無を検討する。 ○ 顧問は、大会の感染症対策を確認するとともに、生徒等にも周知する。 ○ 生徒は、大会当日に、「別紙1：健康チェック表及び参加同意書（個人用）」を各学校の顧問に提出する。顧問は生徒等から提出された「別紙1：健康チェック表及び参加同意書（個人用）」を大会当日持参し受付で確認をもらう、返却された「別紙1」は少なくとも1月以上、適切に管理する。 前記の、ア～クまでの8項目のうち、1項目でも当てはまった生徒は参加を認めない。 ○ 顧問は、大会当日に、参加生徒や外部コーチ等の健康について確認し、「別紙2：健康チェック表（学校用）」を、大会本部に提出する。 ○ 屋内競技では収容人数の50%以下、屋外競技では2mを目安に（最低1m）間隔をとれる人数となるよう配慮する。
準備品	<p>学校で用意するもの・・・用具等の消毒剤、拭き取り用布巾、予備用マスク 等 各自が用意するもの・・・マスク、タオル、ゴミ持ち帰り用ビニール袋 等</p>
遵守すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ マスクの着用（スポーツの実施中は、マスクの着用はしなくてもよい。） ○ こまめな換気と手洗いや手指消毒を行う。 ○ 更衣室、休憩・待機スペースでの使用留意事項を遵守する。 ○ タオルなどを共有しない。 ○ 飲食時は他人と取り分けず、回し飲みをしない。また、飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てない。 ○ 全てのゴミは各自で持ち帰る。
競技実施中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主催者が決定した感染症対策における競技運営について遵守する。 ○ けがや事故が発生した場合、ただちに顧問等から競技本部に報告し適切な対応をする。
大会開催後	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大会開催後も自身の体調管理に努め、体調の異変があった場合は、医療機関や保健所に相談した上で適切に対応し、参加校から大会本部等に報告する。 ○ 大会終了後2週間のうちに、大会に参加した関係者が陽性と判明した場合は、参加者は「別紙3：行動記録表」を速やかに提出する。顧問がとりまとめ、本部へ提出する。 「別紙3：行動記録表」は、少なくとも1月以上顧問が保管すること。

(6) 危機管理対応

- ① 選手、役員、学校関係者、保護者等で、新型コロナウイルス感染症が疑われる場合、来場や参加の見合わせを求める。必要に応じて、医療機関や保健所等へ相談する。
- ② 大会終了後も、体調の異変があった場合や新型コロナウイルスの感染が判明した場合は、参加校から大会本部へ速やかに連絡する。

茨城県庁内新型コロナウイルス相談窓口： 電話 029-301-3200

茨城県中学校体育連盟事務局： 電話 029-239-3951

2 中学校新人体育大会における感染拡大予防のための運営方針（競技別）

(1) 陸上競技

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会式は実施しない。競技上の注意事項については、顧問から生徒に確実に伝えることとする。 ○ ウォーミングアップは個別に行う。（リレーは除く） ○ 滞在時間短縮のため競技者（チーム）紹介を簡略化する。 ○ 中長距離レースについては、2段階スタートで実施したり、1組の人数を減らしたりするなどスタート地点での密を防ぐ工夫をする。 ○ フィールド競技の出場者が多い場合には、組を分けて実施する。 ○ 投てき器具を共用禁止にする必要はない。終了後の手洗い・洗顔の徹底を呼び掛ける。また、試技の前後に手指の消毒を実施し、競技中に不用意に手で顔を触らぬように注意を促す。跳躍種目におけるマットや砂場、棒高跳ポールについても同様である。 ○ 滑り止め（炭酸マグネシウム）利用については、共用しない方法で実施する。競技者が容器に手を入れて着ける形ではなく、競技役員や補助員から適量を受け取る方法や、小分けして競技者に渡す方法、競技者の持ち込みも可とする。 ○ 招集方法を工夫し3密を避ける。
競技中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 競技者にレース中のマスク着用を義務付ける必要はない。招集中・移動中・待機中はマスクを着用するように呼び掛ける。（マスク着用による熱中症に気をつける。） ○ 競技者待機所に消毒液を準備し、こまめに手指の消毒実施を呼びかける。 ○ 試技・レースを待つ際には、他選手との間は2m以上離れて待機する。 ○ 声を出しての応援は禁止とする。また、観戦の際にはソーシャルディスタンスを保つようアナウンス等で呼びかけをする。
競技後	<ul style="list-style-type: none"> ○ レース（競技）終了後には、手洗い・うがい・洗顔・手指の消毒をする。 ○ 競技終了後やバス乗車時等にシューズ（スパイク）底の消毒等をする。 ○ 表彰については実施しない。アナウンスを正式発表とし、発表後30分を目安に学校受付（TIC）に取りに行く。学校対抗についても同様とする。 ○ 閉会式は実施しない。
競技会参加者に対して事前通知すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参加者に「健康チェック表及び参加同意書（個人用）（学校用）」の提出を求める。 ○ 大会会場への来場者（生徒・保護者）を制限する。 ※原則エントリー選手（主催者から委嘱された補助員生徒を除く） ○ 出場選手以外の生徒の競技場での練習は不可とする。 ○ バス乗降時や各校ベンチ等で使用する手指等の消毒液については各校で準備する。 ○ 招集、競技以外での他校の生徒との接触はしない。
競技役員委嘱に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 競技役員に対し健康チェック表を送付し、提出を義務付ける。提出していない方の参加を認めない。 ※提出先→大会主催者（最低1カ月保存） ○ 必要最小限の競技役員で競技会を運営する。（65歳以上の競技役員には原則委嘱しない） ○ 感染症が重症化しやすい基礎疾患のある者（糖尿病、心不全、呼吸器疾患、高血圧、透析を受けている者等）には、競技役員委嘱の連絡の際に辞退するよう促す。
競技運営に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ トラック種目は最小限のラウンドのみの実施とし、スタート待機及び招集時間等を分割し密集を防ぐタイムテーブルを設定する。 ○ 3密回避行動、マスクの着用、眼からの飛沫感染を防ぐための眼鏡またはサングラス、使い捨ての手袋を緊急時にすぐに着けられるように携帯する。 ○ 給水の競技役員・補助員は競技開始前に手指を消毒し、マスク、手袋、フェイスシールド等を着用する。（給水所にスポンジは使用しない） ○ 拡声器・通信機器等を利用する。（その都度消毒を行い、使いまわしに注意する） ○ 用器具、通信機器、審判用具、計測機器、情報端末、その他の共用物の使用後は手洗い・手指の消毒・洗顔を欠かさない。 ○ ハードルの設置については、手指消毒等を行った競技役員・生徒補助員で行い、ハードル撤収後には、ハードルも消毒する。（使い捨ての手袋を準備してもよい。） ○ 競技中・フィニッシュ後に倒れ込んだ競技者へのケア ○ 防護体制（マスク、フェイスシールド、ゴーグル、タオル、使い捨て手袋など）を整えたスタッフで対応する。ゴーグル（サングラス）はその都度アルコール消毒をする。 ○ 表彰については、単に中止にするというだけでなく、密集状態にならないように、別会場で行ったり、時間を分けて行ったりすることが望ましい。その際、表彰を見に来た応援生徒等の整理誘導を行い、3密や不要な接触を防ぐ。 ○ 学校に出入りする写真業者については、1校につき1名までとし、各校からの事前通知やHP等を通じて取材の事前申請を受け付けるなどの対応をとる。協力事項として、健康チェック表を各校から配布し、主催者と学校への提出を義務付けるとともに、マスクの着用等の感染予防を心がけてもらう。（委託業者としてビブスまたは腕章を着用してもらう。）

会場施設管理に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ スタンド入退場口を限定し、手指の消毒液を準備する。 ○ 主催者は、トイレ・手洗い場等に石鹸の設置をする。 ○ 役員控室・諸室等の室内換気を徹底する。（貴重品管理に十分に注意する） ○ 競技役員控え室は十分な間隔をとることができるように座席を配置する。 ○ シャワーの使用は原則禁止とし、更衣室使用の際には換気を十分に行うと共に、入室する人数を制限する。 ○ フィールド種目や招集所等の待機テント設営時には、ソーシャルディスタンスを確保できるようテント配置を工夫し、ベンチにX印などのマークを付ける。 ○ 発熱者が出た場合の隔離室またはテントを準備する。（適切な部屋が確保できない場合は、飛沫感染防止可能なカーテン、パーテーションなどで仕切ったコーナーを用意する） ○ 多くの者が接触する可能性がある箇所の消毒頻度を増やす。（施設所有者・管理者に確認すること） ○ 使用するトイレは主催者が指定（解錠）した場所のみを使用し、使用の前後に手指の消毒を行う。主催者は大会開始前と大会終了後に消毒を行う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大会要項及び申込データファイル、各種様式の入手先 ※県中体連陸上専門部HPまたは茨城陸協HPからダウンロード ・県専門部HP URL【 https://ibarakitandfchu.wixsite.com/ibarakitandfchu 】 ・茨城陸協HP URL【 https://ibariku.com/ 】

(2) 水泳競技

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会場入場の整列時には、ソーシャルディスタンスを確保する。 ○ 入場前に密集合した状態を作らないために、会場には開場前に到着しないようにする。また、移動等はソーシャルディスタンスを確保できるよう配慮する。 ○ 消毒、黙礼、マスク着用をする。 ○ 共用物・接触が予想される個所は消毒をする。 ○ 会場での挨拶は発声せず黙礼とする。 ○ 競技中・練習中以外ではマスクを着用する。 ○ 更衣室ボックス使用禁止。短時間・時間差・更衣のみ（荷物は、各自バックに入れ、自席におく。） ○ 更衣室は更衣のみに使用する。密集を避けるために、できるだけ短時間で更衣するよう促すとともに、時間差で使用するよう指示する。荷物は共用のボックスを使用せず、各自バックに入れて自席に置く。 ○ 控え場所は、生徒間ができるだけ1m以上の間隔がとれるようスペース確保に配慮する。控え場所には時間差で入場させ、プールサイドは使用しない。 ○ 対面指導を控える。UPでのプール使用は人数制限（2mの間隔がとれるように）を行う。会場内の移動について動線を決定し徹底させる。 ○ 開会式は行わない。 ○ 招集所では間隔をあけて座れるよう座席の配置をする。
競技中	<ul style="list-style-type: none"> ○ レーン確認。入退場の動線を確保。セームのみ。 ○ 応援はなし（声出し禁止）控え場所からの拍手のみ可能とする。競技者以外はマスクを着用する。
競技後	<ul style="list-style-type: none"> ○ 競技後は速やかに退館できるように促す ○ ゴミは各自の持ち帰りとする。 ○ 閉会式は行わない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 選手、引率者、競技役員、大会役員以外は出入りができない。 ○ 大会の所要時間が短くなるようにプログラム編成をする。

(3) 体操

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会式は実施しない。競技上の注意事項については、顧問から生徒に確実に伝えることとする。 ○ 笠松運動公園体育館の収容人数の50%を目安として人数制限を行う。 ○ 会場設営は生徒60名程度に絞り、密を避ける。 ○ 組み合わせで一つの学校の競技日程が2日にまたがらないよう配慮し、競技日だけの参加にし、人数を制限する。

競技中	<ul style="list-style-type: none"> ○ アリーナに選手席を1mおきに設置し、演技間の待ち時間の密を避ける ○ アリーナに開閉式の窓はないが、廊下の窓はすべて開放し換気を行う ○ 器具の共有があるため、アリーナに入る前に手洗いと消毒を行う
競技後	<ul style="list-style-type: none"> ○ 演技後のタッチや握手をしない ○ 器具の共有があるため、競技後アリーナを出る際に手指消毒を行う ○ 閉会式は実施しない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 来場者全員に健康チェック表の提出を求める

(4) 新体操

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会式は実施しない。競技上の注意事項については、簡略化をして実施する。 ○ 笠松運動公園体育館の収容人数の50%を目安として人数制限を行う。
競技中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 練習時間を可能な限り短縮する。 ○ 競技に影響がないようできるだけ換気を行う。 ○ 試合している選手以外はマスクを着用する。 ○ 応援は声を出さず、拍手のみで行う。 ○ 自分の演技が終わったら、選手席に戻り距離をあけて待機する。
競技後	<ul style="list-style-type: none"> ○ できるだけ速やかに帰校する。 ○ 閉会式は実施しない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運営のための補助生徒はできるだけ人数を抑え、速やかに帰校できるようにする。 ○ 来場者全員に健康チェック表の提出を求める。

(5) バスケットボール

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会式は実施しない。競技上の注意事項については、顧問から生徒に確実に伝えることとする。 ○ 審判，コーチ，選手の握手は行わない。 ○ 原則，3位決定戦は行わない。 ○ 参加チームは，試合の1時間半前集合を原則とする。 ○ 参加する生徒は，各チームとも登録メンバーを原則とする。 ○ ギャラリーをテープで区切り，学校毎の荷物置き場（生徒待機場所）とする。椅子は前後，左右を1脚ずつ空けて使用する。 ○ ギャラリーの前2列を応援席として設ける。使い捨て紙布巾，アルコール消毒液を設置し，使用後は椅子等の消毒を使用者にお願いする。
競技中	<ul style="list-style-type: none"> ○ ベンチの椅子同士は1m程度開ける。ベンチ入りメンバーが多く，1列に椅子が置けない場合は2列にしたり，オポジットサイドに追加のベンチを設けたりして選手同士が密にならないよう努める。 ○ 試合をしている選手以外はマスクを着用する。ただし，熱中症予防の観点から，他の選手と離れていればマスクを外してもよいものとする。 ○ 審判は電子ホイッスルの使用を可とする。
競技後	<ul style="list-style-type: none"> ○ ベンチ，T.O席，得点板等の人の触れたものを競技役員でアルコール消毒する。 ○ 応援席の人の入れ替えとアルコール消毒を行う。 ○ 試合やT.Oの役割が終わったチームは，速やかに帰校する。 ○ 閉会式は実施しない。表彰についてはチーム別に行う。 ○ 試合間に窓やドアを開放し，空気の入換えを一斉に行う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 更衣室は広さにゆとりをもたせる。ゆとりをもたせることが難しい場合には，一度に入室する利用者の数を制限したり別室を用意したりするなどの措置を講じる。 ○ 昼食をとる必要がある場合は，選手同士が密にならないように食事場所をチーム毎に指定し，引率責任者指導のもと食事をとらせる。 ○ バスケットボールの消毒はボールそのものの劣化を招く可能性があるため，各ボールメーカーの「お手入れ方法」に従う。

(6) バレーボール

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染防止のため主催者が実施すべき事項や遵守すべき事項をチェックリスト化し、掲示する。 ○ 選手・運営スタッフなど参加者の体調管理を行う。参加申込書、健康チェック表（同意書を含む）を取りまとめる。 ○ 開・閉会式は実施せず、諸注意・表彰式の簡略化をして実施する。 ○ 試合時間を設定し、時間外のフロアへの入場は認めない。 ○ 障がいのある方や高齢者など利用者の特性にも気をつける。
競技中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 試合後の握手はしない。 ○ 密接した円陣を組んでのかけ声や、必要以上に選手同士がふれ合う機会を注意させる。 ○ フラッグ、得点板、モップその他備品類のこまめな消毒など衛生対応を徹底する。 ○ 持ち物（タオル、水筒など）は、個人で用意したカバンなどに入れ、各自が管理する。 ○ ベンチの数を減らし、アップゾーンを広くとることでリザーブの選手も間隔を開けてウォームアップを行う。 ○ チームに1人ワイピングを行う生徒を待機させる。そのとき、チーム専用のタオル・雑巾などを多めに用意して使用する。
競技後	<ul style="list-style-type: none"> ○ トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）は、こまめに消毒する。 ○ 試合間に窓を開けたり、換気扇を常に回す、換気用の小窓をあけたりする等など、換気に配慮する。 ○ 昼食も風通しの良い場所で近距離の対面を避けて行うよう呼びかける。 ○ 出入口付近通路に消毒剤を設置するほか、生徒同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席数を減らすなどの対応をとる。 ○ 内履きが必要な場合もスリッパの貸与は控えて、外履きを持ち込むための袋を持参するよう促す。 ○ 感染予防のための対策が守られているか、会場内を巡回・確認する。 ○ 大会参加人数は、収容人数の50%まで、また1面につき2チームまでとする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観客席を制限し、学校ごとに荷物の保管場所を指定する。 ○ 大声を出しての応援は禁止する。 ○ 会場には、役員・選手など関係者のみ入場を認める。 ○ ゴミの持ち帰りを徹底してもらう。

(7) ソフトテニス

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他人との距離をできるだけ2m（最低1m）確保する。 ○ 試合前アップはコート外において選手が密集・密接を避けた形で体操等にとどめ、円陣や声出し、ランニング、整列等を行わない。 ○ コート内での練習は行わない。 ○ ゲーム数はすべて5Gで行う。 ○ 開会式は実施しない。競技上の注意事項については、顧問から生徒に確実に伝えることとする。 ○ 集合して本部への挨拶は行わない
競技中	<ul style="list-style-type: none"> ○ ポイント間のペアとの距離もできるだけ2m（最低1m）確保するようにする。（対面しないで打ち合わせ） ○ 試合開始前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はネットから1m以上離れて行う。 ○ 選手が密集・密接する円陣や声出し等は行わない。 ○ ペアなどとのハイタッチや握手は行わず、至近距離での声かけは行わないこととする。 ○ 団体戦においてコートに入場できるのは対戦する選手と、ベンチコーチの監督のみとし、待機選手はコート外で一定間隔を保つこと。 ○ 用具、用品（ラケット、タオル、ウェアなど）のシェアをしないこと。また、マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有、使い回しを行わないこと。 ○ 試合をしている選手以外はマスクを着用する。
競技後	<ul style="list-style-type: none"> ○ 試合後の選手間での握手は禁止とする。 ○ 試合終了の度に、こまめな手洗い、手指消毒を行うこと。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ チーム内などにおいて、感染者が発生した場合は、チームを活動停止するとともに大会への出場を中止し、主催者に連絡すること。 ○ 飲食については、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。

- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと。
- 会場に設置しているゴミ箱などは使用せず、ゴミは各自で持ち帰らせること。
- 集合時間をずらして、会場にいる人数が多くなるようにする。
- 敗退してしまった学校は審判等を行い、速やかに会場を後にする。
- 閉会式は行わず、表彰と写真撮影のみ行う。

(8) ハンドボール

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「健康チェック表」を提出する。※検温の徹底。 ○ アップ時のマスクの着用は引率者判断とする。アップ以外はマスク着用とする。 ○ 会場への消毒用アルコールの設置や換気を行う。 ○ 会場入り、アップ前、試合後は手指消毒を行う。 ○ 開閉会式は短縮とし、マイクを使用する。
競技中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 円陣で大声を出すのは禁止とする。 ○ 1回戦，2回戦は試合時間を短縮する。 ○ 延長戦は実施せず，すぐに7mCTとする。 ○ ハーフタイム中にベンチを可能な限り消毒をする。 ○ ベンチの椅子については，最低1m以上の間隔を開ける。 ○ ベンチの選手は，ベンチでの大きな声でのアドバイスを控える。※指導者も含む。 ○ 試合をしている選手以外はマスクを着用する。（オフィシャルも含む。） ○ 応援は拍手のみとする。声での応援は禁止。
競技後	<ul style="list-style-type: none"> ○ 試合後の相手ベンチへの挨拶は省略する。※試合後コート内での挨拶のみ。 ○ 試合後の握手はしない。 ○ 試合後，手指消毒を徹底する。 ○ 試合後，着替えを優先にする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昼食時の飲食の「もらう」，「あげる」は禁止とする。 ○ 観客席等を消毒する。

(9) サッカー

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニフォーム決定については，対戦カードが確定しているものについては原則として大会前に両チーム監督で連絡を取り合い決定しておく。 ○ 大会要項，MCM資料を事前に周知し，当日朝の打合せやMCMを最小限に短縮する。 ※「声を出しての応援禁止」「マスク着用」「ソーシャルディスタンス」等，周知しておく。 ○ 試合開始時間に対して必要以上に，早い時間に集合させない。 ○ 喫煙所を設けない。 ○ 注意しても改善されない場合は退場してもらうなどの措置を講じる。
競技	<ul style="list-style-type: none"> ○ 整列時に選手同士の距離をとる。 ○ 試合開始，試合終了時の握手は行わない。 ○ 両チームベンチへの挨拶を行わない。 ○ 得点時にハイタッチ，抱擁を行わない。 ○ 円陣をしない。 ○ 倒れた選手に手を貸さない。 ○ ピッチ内でも咳エチケットを守り，唾を吐く，手鼻をかむ等の行為を行わない。 ○ 口に含んだ水を吐かない。 ○ ボトルを共有しない。 ○ ベンチではマスクを着用し会話を控える。 ○ 水・氷を溜めたクーラーボックス，タオルを共有しない。
競技後	<ul style="list-style-type: none"> ○ 速やかに両チームを退散させ，ベンチ内の消毒をする。 ○ 試合の終わったチーム（敗戦チーム）から随時帰校する。

(10) ソフトボール

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 攻守順の決定の際や打順表確認の際の主将・監督・審判員の握手は行わない（可能な限り、互いの距離をあける）。 ○ 試合開始時の整列及び礼は、球審の集合準備の合図で両チームがベンチ前に整列し、その場で礼をして行う。
競技中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 試合に参加するすべてのチーム構成員、審判員、記録員のマスク着用を認めるが、熱中症に注意する。 ○ ベンチに入る際は密集を避け、人と人の間隔はできるだけ2mを目安に（最低1m）確保できるよう工夫する。 ○ 大きな声での応援や指示出しを行わないよう周知徹底を行う。 ○ ベンチ内では、マスクを着用する。 ○ 競技中の握手やハイタッチを控える。 ○ 投手のロジンについては、使い回しを避けるため、各校で投手一人につき一つ用意する。 ○ ヘルメットやバット等、共有せざるを得ない道具は、アルコール消毒をした上で使用する。
競技後	<ul style="list-style-type: none"> ○ 試合開始時と同様、両チームベンチ前にて試合後の挨拶を行う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自、手洗い・うがいを徹底して行う。 ○ 食事・休憩等は三密を避けてとる。

(11) 軟式野球

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 試合は7回戦とし、5回以降7点差をもってコールドゲームとする。勝敗が決しない場合は、7回終了後、延長戦を行わずタイブレーク方式（特別延長戦）を行う。特別延長戦の実施方法については、競技者必携に記載している通り。 ○ 選手、チーム関係者、役員、審判員は球場に入る際、必ずマスクを着用すること。また、試合時の攻守交替決定時や大会運営側ならびに審判員からの諸注意をチームに伝える場合は、各々マスクを着用して行うこと。 ○ 全選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控えること。例えば、試合前の整列は、審判員は通常通り整列、対戦校は自校のベンチ前で挨拶を行い、試合を始める。キャプテン同士の握手も行わない。 ○ 試合中以外は、人との距離を2メートル確保する。ベンチ内では一定間隔を保つよう努力すること。 ○ 投手のロジンについては、両チームの使い回しをせずに投手一人につき1つ用意すること。 ○ 試合会場には、消毒液を設置すること。
競技中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 競技中のマスク着用については、選手、審判員の判断とするが、ベンチ内に居る時には、全員がマスクを着用することを推奨する。ただし、熱中症予防に配慮すること。 ○ 肌が触れ合うハイタッチなどは行わず、各々コミュニケーション方法を工夫すること。 ○ チームで兼用する飲料用のジャグの使用はせずに、個人で用意した水筒等で水分補給を行うこと。 ○ 捕手のマスクを共有しないこと。共有せざるを得ない場合は、アルコール消毒をした上で使用すること。
競技後	<ul style="list-style-type: none"> ○ 試合後の整列は、審判員は通常通り整列、対戦校は互いのベンチ前で挨拶を行い、試合を終える。キャプテン同士の握手も行わない。 ○ 試合終了後は、効率よく片付け等を行い、速やかに帰宅するよう指導する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ マスク着用や応援席の密を防ぐために、放送設備が整っている場合には、試合間に感染症防止や熱中症防止を呼び掛けるアナウンスを行う。 ○ 万が一、感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることがないように指導を行うこと。 ○ 参照 JSBB感染予防対策ガイドライン (公財) 全日本軟式野球連盟 http://jsbb.or.jp/news/8160

(12) 卓球

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当面の間、競技種目はシングルスのみとすることを推奨する。（6月29日現在） ○ 卓球台の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・卓球台は十分な間隔を開けて設置する。（4m以上）
競技中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 換気 <ul style="list-style-type: none"> ・換気設備を適切に運転し、十分な換気を行うこと。（各試合終了後など）

	<ul style="list-style-type: none"> ・競技場内の部屋の利用にあたっては、2時間ごとに換気を行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 消毒 <ul style="list-style-type: none"> ・頻回の手洗いによる除菌・感染予防に努める。 ・卓球台およびボールを消毒する場合には製造元のメーカーのホームページを参照するか、メーカーへ問い合わせをして確認する。（※日本卓球協会ガイドライン参照） ・選手・コーチ用ベンチ、審判席、カウンター等については、次亜塩素酸水、70%アルコール、次亜塩素酸ナトリウム（0.05%希釈）、界面活性剤等で各試合終了後に消毒する。 ○ 参加者が遵守すべき事項 <ul style="list-style-type: none"> ・卓球を行っていない時や会話をする際にはマスクを着用すること。 ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。 ・他の参加者、主催者等との距離（できるだけ2 m以上）を確保すること。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く） ・会場で大きな声で会話、応援等をしないこと。 ○ 試合を行う際の留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・当面の間、ゲームごとのチェンジエンドは行わない。 ・タオルの共用はしない。 ・飲料は自分専用のもので飲み、回し飲みはしない。 ・卓球台の上で手を拭いたりしない。 ・シューズの裏を手で拭くことはしない。
競技後	<ul style="list-style-type: none"> ○ 握手などの身体を接触させる挨拶は行わない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 試合前後のミーティング等においても、三つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分配慮すること。 ○ 参照 （公財）日本卓球協会HP「卓球競技に関わる大会等再開時のガイドライン」

(13) 柔道

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会式は実施しない。競技上の注意事項については、顧問から生徒に確実に伝えることとする。 ○ 観客席の地区割り振りを実施する。そのことで、開場を待つ選手で入口が密になることを避ける。 ○ 原則、3位決定戦は実施しない。
競技中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 試合している選手以外はマスクを着用する。 ○ 毎試合必ず手洗いうがいの実施を確認する。
競技後	<ul style="list-style-type: none"> ○ 閉会式は実施しない。連絡事項は、顧問から生徒に確実に伝えることとする。 ○ できるだけ速やかに帰校する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当日の連絡事項は、観客席に選手を座らせた状態でマイクを使って伝えることとする。 ○ 会場収容人数の50%以内とするため、参加人数を制限する（県大会については、個人戦は各地区各階級4枠、団体戦は男女それぞれ各地区5枠）。 ○ 個人戦に学校から1人で参加する場合には、練習相手として1人の付添を認める。

(14) 剣道

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 声は極力出さないようにする。（競技中も） ○ つばぜり合いは避ける。やむを得ず、つばぜり合いになった場合はすぐに分かれる。つばぜり合いをすぐに解消しない場合は、直ちに「分かれ」を宣告する。 ○ 試合時間を短縮し、延長戦は実施せず、引き分けとする。
競技中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 待機中の選手は1 m以上間隔を開ける。 ○ 選手は、必ず面マスクを着用する。 ○ 面マスクをして運動することで、熱中症が心配される。無理をさせず、小まめに面をはずし水分補給を行わせる。 ○ 試合をしている選手以外にもマスクを着用する。（審判、監督、係員も同様）

競技後	○ 大会に使用した面マスク・剣道着・袴・手拭い・竹刀はその都度持ち帰り、洗濯や除菌を行う。また、防具については、アルコール噴霧などにより消毒する。
その他	○ 参照 (一般) 茨城県剣道連盟HP「対人稽古再開に向けてのガイドラインについて」

(15) 相撲

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 選手は保護者の同意が得られた者のみの参加とする。 ○ 監督、選手、保護者など、会場に来場する関係者は、マスクを必ず着用すること。健康チェック表を記入し大会本部へ提出すること。(1か月保管) ○ 体調が優れない者の会場への入場は認めない。 ○ 団体戦がリーグ戦の場合、同点決勝は行わずに直接対決の勝者を上位の順位とする。 ○ 主審以外の審判はマスクを着用し、主審は通常よりも1歩下がって競技を裁くこととする。 ○ 開会式は行わず、競技上の注意と開会宣言を放送で行う。
競技中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 控えの際は1m以上間隔をとる。 ○ 試合をしている選手以外は、マスクを着用する。 ○ 取組前後に選手はアルコール除菌シートで手指や胸、肩などを十分に拭く。 ○ 参加者の大声での声援や指示、指導は禁止する。 ○ 作戦の指示は控えに入る前に済ませておくこと。
競技後	<ul style="list-style-type: none"> ○ 使用した用具を消毒する。 ○ できるだけ速やかに帰校する。 ○ 閉会式は行わず、閉会宣言を放送で行う。 ○ 表彰は代表1名のみの参加とし、賞状のみの授与とする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消毒液、除菌シートを用意し、適宜消毒を行う。 ○ タオルや飲料は自分専用のもを使用する。 ○ 観戦者は周囲と1m以上間隔を空け、大声での声援を禁止し、会話を控えるようにする。 ○ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は主催者に速やかに報告する。 ○ 上記の事項について遵守できない場合は口頭での注意。それでも改善されない場合には退場を命じることがある。

(16) 弓道

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当日の打合せは射場等、広い場所で行う。 ○ 他の参加者、競技役員等の距離(できるだけ2m以上)を確保する。 ○ 大会中に大きな声で会話、応援等をしない。(矢声禁止) <p>[巻き藁室・遠的場]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 行射前選手は、選手控室→巻き藁練習→選手集合場所→第3控→・・・の導線で移動する。 ○ 巻き藁室(役員控え室)も密にならないように配慮をする。 ○ 換気用の窓をあける等、換気に配慮する。 ○ 試合開始前以外の巻き藁練習は遠慮してもらう。
競技中	<p>[第2控・第3控、選手集合場所]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 選手同士の間隔が密にならないよう、ゆとりをもって配置する。 ○ 飛沫防止のため、私語を禁止する。 ○ 射場内(行射中も含む)も含め、選手のマスク着用は選手の判断に任せる。 ○ 監督は常にマスクを着用する。 ○ 複数の参加者が触れると考えられる場所(イス等)については、こまめに消毒する。(消毒剤を設置する) <p>[記録席・的前審判席]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 役員同士の間隔が密にならないよう、ゆとりをもって設置する。 ○ 複数の大会役員が触れると考えられる場所・機材(机、イス、トランシーバー、マイク、双眼鏡、看的表示板、的中数表示板、○×表示器等)については、板、的中数表示板、○×表示器等)については、交代時に消毒する。(消毒剤を設置する)

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆記用具の共有は行わない。(各自持参する) ○ 矢取りの参加者同士が密にならないよう、看的小屋の外で待機させる。
競技後	<p>[選手控室, 更衣室, 休憩・待機スペース]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。(障がい者の介助を行う場合を除く) ○ ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる。 ○ 複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ, テーブル, イス等)については、こまめに消毒する。 ○ 1時間おきに換気用の窓をあける等、換気に配慮する。 ○ アルコール等の手指消毒剤を設置する。
その他	<p>【参加者について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 当面の間、参加者を次のように限定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・大会役員および競技役員、参加申込をした選手及び監督、競技役員の人数は最小限とする。 <p>[顧問控室・大会本部]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめイスの数を減らすなどの対応をとる。 ○ 換気用の窓をあける等、換気に配慮する。 ○ 入退室の前後に手指の消毒をする。(消毒剤を設置する) ○ 複数の役員が触れると考えられる場所(机, イス等)については、こまめに消毒する。 <p>[観覧席]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観覧者同士が密な状態とならないよう、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとる。 ○ 「矢声・応援禁止」および「マスク着用」の掲示をする。

(17) バドミントン

留意事項	具体的な対策
競技前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 得点制限を設ける。(15点3ゲームマッチ。延長ゲーム最大21点。) ○ 審判は、4人おらず、対角線で線審2名(線審が得点板, 主審も兼ねる)のみも可とする。 ○ できるだけ消毒薬を準備し、可能な場合は、各コートに1つずつおき、競技開始前, 終了後に選手+審判は消毒を行う。 ○ 大会中に具合が悪くなった時の隔離場所の設置。 ○ 観客席に座る際は、1つ空きで座る。 ○ 試合は、全体での流し込み形式より各トーナメントの山または、種目ごとに同じコートで試合することが望ましい。 ○ 試合を待っている生徒については、密を避けるため、自席かできる限り体育館外で待機。 ⇒ゲームに参加しない選手・生徒は大会会場の入場を制限して「密を避ける」 ○ 大会中の学校単位の配置場所は人数を考慮してソーシャルディスタンスを保つために指定し、他校待機場所には選手の移動がないように指導する。 ○ 開会式は実施しない。競技上の注意事項については、顧問から生徒に確実に伝えることとする。
競技中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 風の影響が少なければ、基本的に窓を開けて実施する。強風時や冷房を入れている際は、2時間に1回15分程度、試合中であっても、換気を設ける。換気する際は、試合の一時中断もあり得る。 ○ ベンチの椅子同時は最低1m以上開ける。 ○ 試合をしている選手以外はマスクを着用する。 ○ 試合前, 試合後の握手はなし。 ○ インターバル中の手の消毒も可とする。 ○ モップを使用した際は、できるだけ手の消毒をする。 ○ コートサイドのかごはなし。各自、ナップサックやリュック, ビニール袋等を準備し、そこに水筒等を入れてコートサイドに置く。ラケットバックも可とする。 ○ コーチングでベンチに入る指導者・コーチはマスクを必ず着用する。 ⇒準備できる方は、フェースシールドを着用する。
競技後	<ul style="list-style-type: none"> ○ 審判グッズを消毒する。 ○ 敗者は、審判をして帰宅する。 ○ 試合前後の握手はしない。 ○ できるだけ速やかに帰校する。

	○ 閉会式は実施しない。表彰も取りやめる。
その他	○ 応援・声援は拍手のみとして声を出しての応援・声援は禁止を呼びかける。 ○ 会場収容人数の50%以内とするため、参加人数を制限する。

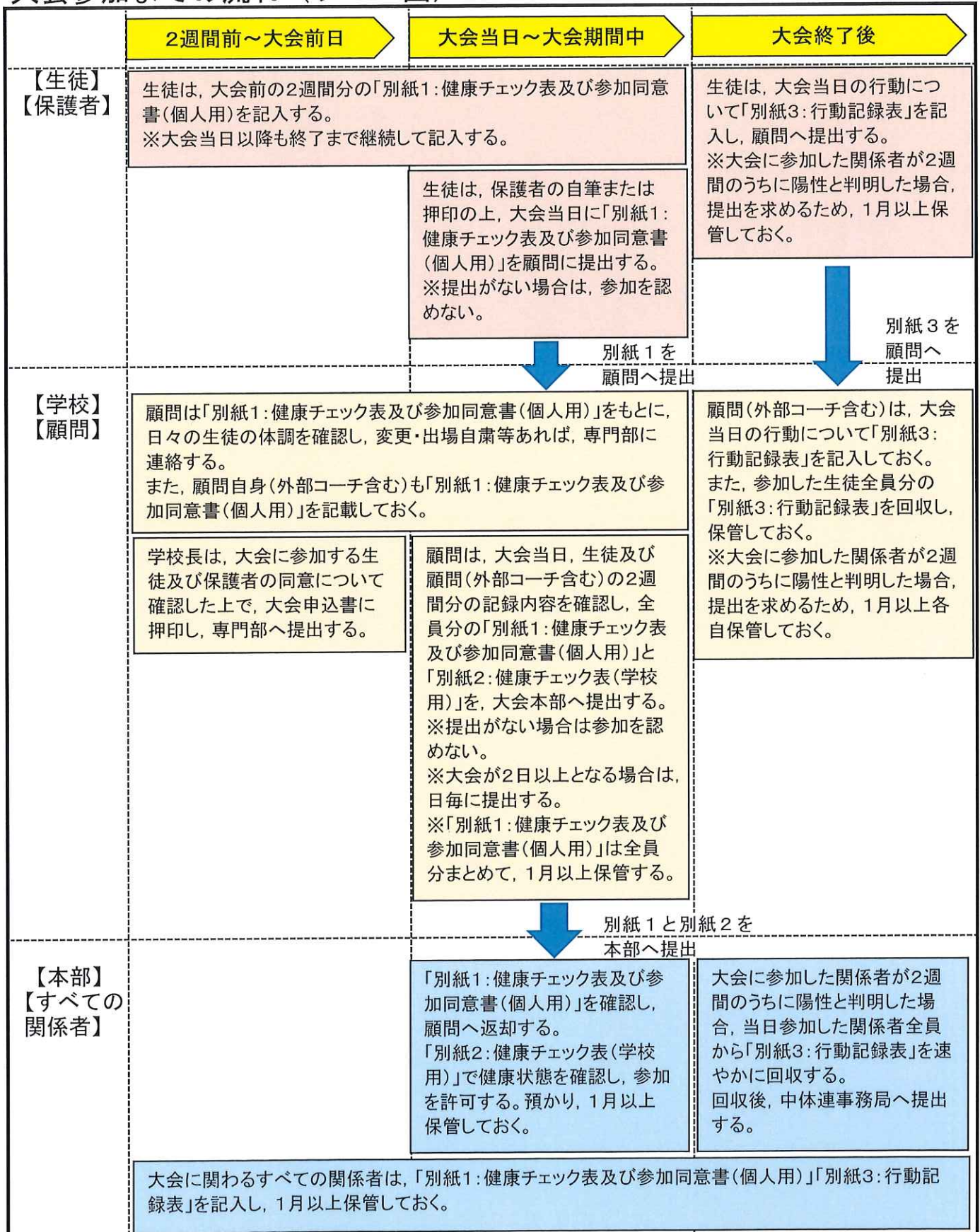
(18) レスリング

留意事項	具体的な対策
競技前	○ 試合前の練習では、練習ペアを固定し相手を変えないで行う。 ○ 試合前の練習場の使用人数の制限を行う。(マット1面につき最大10名まで) ○ 試合前の練習では、時間を区切りローテーションで行う。入れ替え時にマット消毒を行う。 ○ 参加者は直近2週間の間に発熱や感冒様症状(発熱、せき、頭痛、倦怠感、味覚や臭覚異常)などが無いことを確認し、健康チェックシートに記入し提出を行う。 ○ 試合前に選手同士、審判との握手はしない。 ○ 選手は、試合前にシューズと手指の消毒を行う。
競技中	○ 審判は、医療用手袋とフェイスシールドを着用、選手との握手と勝者の手を揚げない。 ○ 窓を開けて実施する。強風時は、試合時間を区切って、合間に換気をする。 ○ 試合前の消毒と開始後は10試合ごとにマット消毒を行う。 ○ 試合をしている選手以外はマスクを着用する。(審判団、セコンドを含む) ○ セコンドは1名とし、第2セコンドは付けない。
競技後	○ 試合後に選手同士、審判、相手セコンドとの握手はしない。
その他	○ 参照 (公財)日本レスリング協会HP「レスリングの新型コロナウイルス感染対策トレーニングガイドライン」 https://www.japan-wrestling.jp/2020/06/08/161275/

別紙一覧

- 別紙 1 健康チェック表及び参加同意書（個人用）
- 別紙 2 健康チェック表（学校用）
- 別紙 3 行動記録表

大会参加までの流れ（フロー図）



【別紙1】

新人体育大会 健康チェック表及び参加同意書(個人用)

大会当日生徒が顧問へ提出
顧問は本部へ提出

学校名		部活動名	氏名
日付	起床後体温(°C)	症状(息苦しさ, 倦怠感, 高熱 嗅覚・味覚の異常等)	備考(外出先や接触した人など)
14日前 / ()	. °C	あり() なし	
/ ()	. °C	あり() なし	
/ ()	. °C	あり() なし	
/ ()	. °C	あり() なし	
/ ()	. °C	あり() なし	
/ ()	. °C	あり() なし	
/ ()	. °C	あり() なし	
/ ()	. °C	あり() なし	
/ ()	. °C	あり() なし	
/ ()	. °C	あり() なし	
/ ()	. °C	あり() なし	
/ ()	. °C	あり() なし	
/ ()	. °C	あり() なし	
/ ()	. °C	あり() なし	
当日 / ()	. °C	あり() なし	

大会当日に以下の事項の有無の上、「はい・いいえ」どちらかを○で囲んでください。
「はい」が8項目中1項目でもあった場合は、参加を認められません。

<input type="checkbox"/> 平熱を超える発熱(概ね37度5分以上)がある。	はい・いいえ
<input type="checkbox"/> 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状がある。	はい・いいえ
<input type="checkbox"/> だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)がある。	はい・いいえ
<input type="checkbox"/> 嗅覚や味覚の異常がある。	はい・いいえ
<input type="checkbox"/> 体が重く感じる、疲れやすい症状がある。	はい・いいえ
<input type="checkbox"/> 過去14日以内に、新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触があった。	はい・いいえ
<input type="checkbox"/> 過去14日以内に、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいた。	はい・いいえ
<input type="checkbox"/> 過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は帰航した人との濃厚接触があった。	はい・いいえ

参加同意書

本大会の運営方針を確認の上、遵守し参加することに同意いたします。また、大会後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、学校(チーム)を通して主催者に速やかに濃厚接触者の有無を報告いたします。

生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

印 _____

本同意書は顧問が1月以上保管すること。

(保護者の自筆または押印)

○本チェックシートは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。個人情報については、来場可否の判断及び必要な連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。ただし、会場にて感染の疑いがある方が発見された場合には、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。
○本連盟の作成した「中学校新人体育大会における感染拡大予防のための運営方針」等に沿って、入念な対策で大会運営に臨みますが、それでも100%の感染防止を確約することは難しいと思われまます。万が一新型コロナウイルスに感染してしまっても、当方は責任を負うことはできない点をご了承ください。

【別紙2】

新人体育大会 健康チェック表 (学校用)

大会当日顧問が本部へ提出

記載日	令和	年	月	日	学校名	部活動名
					氏名	備考
顧問					当日体温	健康状態
					参加同意書	
顧問					. °C	良好・不良
					有・無	
コーチ					. °C	良好・不良
					有・無	
コーチ					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒1					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒2					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒3					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒4					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒5					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒6					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒7					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒8					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒9					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒10					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒11					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒12					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒13					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒14					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒15					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒16					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒17					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒18					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒19					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒20					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒21					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒22					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒23					. °C	良好・不良
					有・無	
生徒24					. °C	良好・不良
					有・無	

※ 健康状態「良好」とは、別紙1「健康チェック表及び参加同意書(個人用)」の8項目のうち、すべて「いいえ」の場合とする。

大会に参加する顧問、コーチ、生徒は、健康上の問題はありません。また、感染拡大予防のための運営方針に従い、大会に参加することに同意します。

顧問氏名 印

枠が足りない場合はコピーをお願いします。 (顧問自筆または押印)

○ 本チェックシートは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。個人情報については、来場可否の判断及び必要な連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。ただし、会場にて感染の疑いがある方が発見された場合には、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

○ 本連盟の作成した「中学校新人体育大会における感染拡大予防のための運営方針」等に沿って、入念な対策で大会運営に臨みますが、それでも100%の感染防止を確約することは難しいと思われま。万が一新型コロナウイルスに感染してしまっても、当方は責任を負うことはできない点をご了承ください。

【別紙3】

行動記録表

大会後顧問へ提出

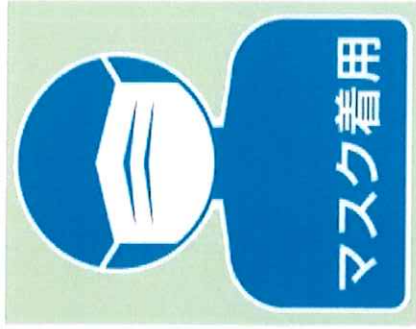
学校名		部活動名	氏名
	時間	活動場所	活動内容
例	8:00	体育館西側トイレ	会場着, トイレ使用
	9:00	受付, 体育館 Aコート	受付, ウォーミングアップ開始
顧問1名, 生徒10名			
顧問2名, コーチ1名, 生徒10名			
大会初日	7:00		
()月()日	8:00		
()曜日	9:00		
	10:00		
会場名	11:00		
()	12:00		
	13:00		
会場までの移動手段	14:00		
()	15:00		
	16:00		
	17:00		
	18:00		
	19:00		
大会2日目	7:00		
()月()日	8:00		
()曜日	9:00		
	10:00		
会場名	11:00		
()	12:00		
	13:00		
会場までの移動手段	14:00		
()	15:00		
	16:00		
	17:00		
	18:00		
	19:00		
大会3日目	7:00		
()月()日	8:00		
()曜日	9:00		
	10:00		
会場名	11:00		
()	12:00		
	13:00		
会場までの移動手段	14:00		
()	15:00		
	16:00		
	17:00		
	18:00		
	19:00		

○記載する「活動場所」については、15分以上いた場所や使用したトイレなどもご記入ください。

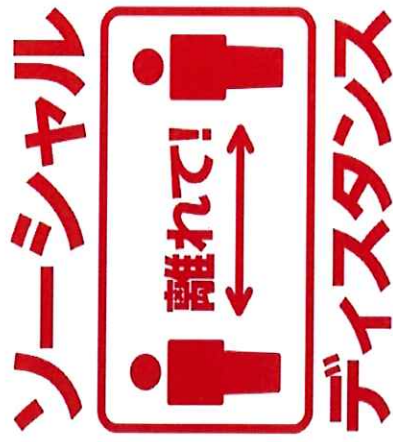
○大会へ参加した関係者の中で、大会終了後2週間のうちに新型コロナウイルス感染症の陽性者がいたことが判明した場合、本紙の提出を求めます。大会終了後1月以上は顧問が保管をしておいてください。

新型コロナウイルス感染症防止にご協力をお願いいたします

<マスク着用（咳エチケットも忘れずに）>



<ソーシャルディスタンス（目指せ、ゼロ密!）>



<手洗い，手指の消毒>



<ゴミを持ち，速やかな帰宅を>



**ゴミ箱は設置
してありません**
各自でお持ち帰りください